

# CASBEEとっとり 重点項目シート

株式会社明治製作所大谷工場新築工事

重点項目	評価項目	評価方法	評価内容欄	評価点欄	採点欄
県産材利用の推進	主要構造部	主要構造部の県産材使用率 (%) = 県産材使用量 (m <sup>3</sup> ) / 木材使用量 (m <sup>3</sup> ) × 100	主要構造部の県産材使用率は50%以上である。	5	評価対象外
			主要構造部の県産材使用率は1%から50%未満である。	3	
			上記のいずれにも該当しない。	0	
			法令上、主要構造部を木造とすることができない。	評価対象外	
	床材	床材の県産材使用率 (%) = 県産材使用面積 (m <sup>2</sup> ) / 木材使用可能面積 (m <sup>2</sup> ) × 100	居室床材の県産材使用率は50%以上である。	5	0
			居室床材の県産材使用率は1%から50%以上である。	3	
			上記のいずれにも該当しない。	0	
	腰壁	腰壁の県産材使用率 (%) = = 県産材使用面積 (m <sup>2</sup> ) / 木材使用可能面積 (m <sup>2</sup> ) × 100	腰壁面積の県産材使用率は50%以上である	5	評価対象外
			腰壁面積の県産材使用率は1%から50%未満である	3	
			上記のいずれにも該当しない	0	
			法令上、居室の腰壁に木材が使用できない。	評価対象外	
	外装材	外装材の県産材使用率 (%) = 県産材使用可能面積 (m <sup>2</sup> ) / 木材使用可能面積 (m <sup>2</sup> ) × 100	外装材の県産材使用率は50%以上である	5	評価対象外
外装材の県産材使用率は1%から50%未満である			3		
上記のいずれにも該当しない			0		
法令上、外装材に木材が使用できない。			評価対象外		
総使用量	主要構造部・床材・腰壁・外装材における県産材の総使用量	県産材を、30m <sup>3</sup> 以上使用している	5	0	
		県産材を、15m <sup>3</sup> から30m <sup>3</sup> 未満使用している	3		
		県産材を、1m <sup>3</sup> から15m <sup>3</sup> 未満使用している	1		
		上記のいずれにも該当しない	0		
<b>県産材利用の推進の評価点 計</b>				<b>10</b>	<b>0</b>
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	鳥取県認定グリーン商品利用の推進	鳥取県認定グリーン商品のうち使用している品目の数	「建築資材等」の品目を3種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて5種類以上使用している	25	0
			「建築資材等」の品目を2種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて3種類以上使用している	15	
			「建築資材等」の品目を1種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて2種類以上使用している	5	
			上記のいずれにも該当しない	0	
<b>鳥取県認定グリーン商品利用の推進の評価点 計</b>				<b>25</b>	<b>0</b>
設備システムの高効率化	設備システムの高効率化	別表2に掲げる評価手法に応じ算出されたB E I 値又はB E I m値により評価	レベル5	25	5
			レベル4	15	
			レベル3	5	
			レベル1, 2	0	
<b>自然エネルギー変換利用の推進の評価点 計</b>				<b>25</b>	<b>5</b>
敷地内緑化推進	敷地内緑化推進	敷地内における緑化、生物環境の保全等への取組みのうち、採用して入る取組みの区分に応じて与える評価点の合計	生物環境の保全と創出に関して十分配慮されており、充実した取組が行われている。(評価ポイント13以上)	25	10
			生物環境の保全と創出に関して配慮されており、比較的多くの取組が行われている。(評価ポイント10~12)	15	
			生物環境の保全と創出に関して配慮されており、標準的な取組が行われている。(評価ポイント7~9)	10	
			生物環境の保全と創出に関して配慮されているが、取組が十分とはいえない。(評価ポイント4~6)	5	
			生物環境の保全と創出に関して配慮に欠け、取組が不十分である。(評価ポイント0~3)	0	
<b>敷地内緑化の推進の評価点 計</b>				<b>25</b>	<b>10</b>
<b>総合評価点 合計</b>					<b>15</b>
<b>最高評価点 合計</b>					<b>85</b>